

番号	種別	学習・研修会	映像教材名	事例提供団体等
17	学	体育科学習	「小学校体育（運動領域）デジタル教材」	鹿屋市立西原小学校
18	学	避難訓練	「ちびまる子ちゃんの火の用心」等	鹿屋市立西原台小学校
19	学	理科学習	「土地のつくりと変化（東京書籍）」	鹿屋市立高須小学校
20	社	P T A 全体会	「ちょっと待ってケータイ」	鹿屋市立高隈小学校
21	学	社会科学習	「縄文時代と弥生時代」等	鹿屋市立輝北中学校
22	学	人権教育講演会	「めぐみ」	鹿屋市立串良中学校
23	社	高齢者学級	「新しい自分の発見 ボランティアでいきいき人生」等	垂水地区公民館
24	社	家庭教育学級	「わたしからはじめる人権～子どもの人権編～」	曾於市立大隅北小学校
25	職	校内研修	「英語教育推進リーダー中央研修DVD教材」	曾於市立恒吉小学校
26	学	社会科学習	「社会の扉 森林と林業」	曾於市立中谷小学校
27	社	人権教育研修会	「あの空の向こうに」「思い込みから思いやり」	志布志市教育委員会生涯学習課
28	職	職員研修	「つつぬけ？丸見え？ネット時代の”個人情報”」	西之表市立現和小学校
29	職	職員研修	「JK（女子高生）があぶない 知ってほしいスマホの世界」	西之表市立現和小学校
30	職	職員研修	「わたしからはじめる人権（女性の人権編）」	南種子町立南種子中学校
31	学	安全指導（火災）	「火あそびは火事のもと」	奄美市立屋仁小学校
32	社	学年 P T A	「ぐりぶー・さくらのスマホ時代のネットトラブル予防教室」	奄美市立金久中学校
33	学	学級活動	「『人権』って何だろう」	大和村立名音小学校
34	学	人権集会	「大切なわたし 大切なあなた」	瀬戸内町立薩川小学校
35	職	職員研修	「平沢保治さん講演 教員編」	瀬戸内町立諸鈍小中学校
36	学	学級活動	「アニメ『めぐみ』」	瀬戸内町立俵中学校
37	学	学校行事	「津波に備える」	龍郷町立龍北中学校
38	学	租税教室	「マリンとヤマト 不思議な日曜日」	喜界町立喜界小学校
39	学	理科学習	「月・星は動くのだろうか」	喜界町立早町小学校
40	学	道徳の時間	「クレオパトラアイランド～喜界の自然～」	喜界町立喜界中学校
41	社	長寿者学級	「社会福祉協議会のしくみと事業内容」	喜界町教育委員会生涯学習課

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	鹿屋市立西原小学校		
学習・研修会名	体育	対象者	小3児童
学習・研修内容	ベースボール型ゲーム		
映像教材名	小学校体育（運動領域）デジタル教材	種類・時間	DVD・10分
映像教材の概要	児童が、授業や事前の学習で理解できるように、学習の進め方と技能のポイントが示されている。また、教員の教材研究にも活用できる。		
教材借用先等	文部科学省		
映像教材活用の実際	<p>1 前時の「試しのゲーム」を振り返る。</p> <p>○「ルールが分からなかった。」</p> <p>○「ボールが遠くに飛ばなかった。」</p> <p>2 DVDを視聴する。</p> <p>○練習方法 ○投げ方 ○蹴り方 ○ルールの工夫等</p> <p>3 今日のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なげ方やけり方のコツを見つけて気を付けて試してみよう。</p> </div> <p>4 チームで練習をする。</p> <p>○DVDで見た投げ方や蹴り方のコツができているか、確かめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投げるときに、左足を前に出す ・蹴るときは、ボールを足の横に置く など <p>5 ゲームをする。</p> <p>6 学習のまとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>コツに気を付けると、ボールを思ったように動かし、楽しくゲームができる。</p> </div>		
成果課題	<p>○ 自分たちと同じ小学生が運動している映像を見ることで、児童は理解しやすく、その後の動きに変化が見られた。</p> <p>・ ○ 教室で映像を見てから運動場へ移動した。運動場でも、もっと手軽に見られるように、ソフト面とあわせて、ハード面の充実も必要である。</p>		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	鹿屋市立西原台小学校		
学習・研修会名	学校行事 避難訓練（火災想定）	対象者	全学年
学習・研修内容	防火（防災）対策及び火災発生時の安全な避難の方法について		
映像教材名	○「ちびまる子ちゃんの火の用心」 ○「わが家・わが町を守る防火・防災対策」	種類・時間	DVD・ 各15分程度
映像教材の概要	火災の甚大な被害と防火についての知識について、映像を通して分かりやすく簡潔に理解させる。		
教材借用先等	鹿屋市視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 訓練の意味や、火災発生時の避難方法について知る。 2 教室でDVDを視聴し、火災から自分自身や周囲の人々を守るために大切なポイントを知る。（事前指導） 3 火災発生時の放送を聞き、校舎の火災発生危険区域から速やかに避難する。 4 避難場所に整列する。 5 先のDVDで知った基本的な防災と避難方法を全体で再度確認し、消防署職員の指導の下、実際に数名の児童が消火訓練をする。 6 学校長の講評を聞く。 7 訓練終了後、学級で事後指導を受ける。（事後指導） 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際の火災がどのような原因で発生するのか、また、火災が発生した際にどのような危険が迫ってくるのか、具体的な映像資料によってイメージしやすく、児童の防火に努める意識と迅速な避難の必要性を高めるのに効果があった。 ○ 避難訓練の事前資料として活用することで、課題意識をもった実際の訓練につながった。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	鹿屋市立高須小学校		
学習・研修会名	理科学習	対象者	6年児童
学習・研修内容	変わり続ける大地		
映像教材名	土地のつくりと変化（東京書籍）	種類・時間	DVD・10分
映像教材の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や火山の噴火によって変化した様子の紹介 ・大地が変化する仕組みについての説明 ・地震や火山の噴火に対する備えの紹介 		
教材借用先等	鹿屋市教育委員会学校教育課		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 地震や火山の噴火によって変化した大地について知る。 1995年 兵庫県南部地震 2008年 岩手・宮城大地震 1990年 雲仙普賢岳噴火 2000年 有珠山噴火 2011年 霧島山新燃岳噴火 2014年 御嶽山噴火 など 2 インターネットや図書資料，DVDを使って，調べ学習をする。 DVD活用「土地のつくりと変化（東京書籍）」 インターネット活用，図書資料活用 3 調べたことや分かったことをまとめる。 4 調べたことや分かったことを発表する。 5 学習のまとめをする。 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「大地の変化」の見学や変化のメカニズムについては，実際に見ることが難しいので，DVDを活用して映像で視聴することにより，興味関心が高まり理解も深まっていた。 ○ DVD視聴後，身近な地域の断層や地層を見学に行くことで，身近な現象として本単元の学習内容のまとめをすることができた。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	鹿屋市立高隈小学校		
学習・研修会名	P T A 全体会	対象者	職員 保護者
学習・研修内容	情報活用能力の育成		
映像教材名	「ちょっと待って，ケータイ」 (日本視聴覚教育協会)	種類 時間	D V D 3 0 分
映像教材の概要	ネットトラブルを回避するための知識と知恵が学べる。 1 用語の解説 2 フィルタリングについて 3 トラブル時の相談窓口		
教材借用先等	自校所有		
映像教材活用の実際	<p>1 テーマの説明 (1) 学習のねらいや目的について簡単に説明する。 (ねらい) ○ 子どもを取り巻く情報化社会の現状について正しく理解する。 ○ 情報機器の便利さと危うさについての認識を深める。 ○ ネットトラブルに遭遇した際の対処法について学ぶ。 (2) 鹿屋市の児童生徒，保護者を対象に実施した「インターネット利用の実態調査」の結果や「市P連の取組」について知る。</p> <p>2 D V D 「ちょっと待って，ケータイ」を視聴する。</p> <p>3 個人学習 D V D 視聴や「インターネット利用の実態調査」の結果や「市P連の取組」についての感想や意見を用紙に記入する。</p> <p>4 全体学習 児童生徒と保護者の認識のズレを比較することで浮かび上がる課題とその対策について話し合う。 ・ 複雑化するネット社会にどう向き合うか。 (どちらかと言えば子どもの方が親より先行している現状) ・ ネットもスマホも上手に活用すれば，この上なく便利なツールではあるが，かなりの危険性も含んでいることも学ばせる必要がある。 ・ 情報モラルをいかに育み，様々なトラブル発生をどう防ぐのか。 ネットいじめ，著作権・肖像権の侵害，ネット依存 フィルタリングの設定，家庭内ルール ・ もしもトラブルが発生したら，どう対処すればよいか。</p> <p>5 学習のまとめ 学習を振り返り，実践事項を確認する。</p>		
成果・課題	○ ネット社会のルールやマナーを遵守する必要性について理解を深めることができた。 ○ D V D でメールの落とし穴，ケータイ・スマホに忍び寄る罠，危険な誘惑等について具体例を確認することができた。 ○ 家庭と学校が連携して，子どもに情報モラルを身に付けさせることでネットトラブルの未然防止・早期発見・早期対応に繋げる必要がある。		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	鹿屋市立輝北中学校		
学習・研修会名	社会科学習	対象者	1年生徒
学習・研修内容	縄文時代から飛鳥時代		
映像教材名	縄文時代と弥生時代 ヤマト政権による統一国家の成立 進む中央集権化と国際文化	種類・時間	DVD 各10分 程度
映像教材の概要	遺跡から発掘された実物を紹介しながら，縄文時代から飛鳥時代の時代背景や特徴についてまとめたDVD教材		
教材借用先等	NHK から配信された映像		
映像教材活用の実際	<ul style="list-style-type: none"> ① 縄文時代と弥生時代 ② ヤマト政権による統一国家の成立 ③ 進む中央集権化と国際文化 <p>1 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題の確認をする。 <p>2 展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 映像教材を視聴する。 ○ 映像に出てきた内容について，教師の発問に答える。 ○ 教科書や資料集も活用しながら，その時代背景や特徴について学習する。 <p>3 終末</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの時代の特徴や違いについてまとめる。 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書や資料集だけで学ぶよりも，授業の展開で映像教材を視聴することで生徒たちはイメージを作りやすくなる。また，生徒の興味・関心が増し，時代背景や特徴についてより深く学ぶことができた。 ○ 教科書の内容とのずれが生じる場合があるので，資料内容の精選を行いたい。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	鹿屋市立串良中学校		
学習・研修会名	人権教育講演会	対象者	生徒・教職員・保護者
学習・研修内容	北朝鮮当局による拉致問題等		
映像教材名	めぐみ	種類・時間	DVD・25分
映像教材の概要	昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いた25分のドキュメンタリー・アニメ。		
教材借用先等	配付された映像教材		
映像教材活用の実際	<p>1 期日 1月9日（土）</p> <p>2 場所 本校体育館</p> <p>3 学習内容 拉致被害者の市川修一さんの兄夫婦である、市川健一さん・龍子さんご夫妻を講師に招いて講演会を行った。 まず、拉致被害者「横田めぐみさん」とその家族についてのDVD「めぐみ」を鑑賞し、その後、市川さんご夫妻にお話しをしていただいた。 市川ご夫妻は、「拉致された本人や、わたしたちのような残された家族のことをみなさんに知っていただいて、二度とこんなことが起こらないように、この問題にもっと興味を持ってほしい。」と話された。 この講演会を通して、家族の方々の苦しみを知るとともに、拉致問題の深刻さについて学ぶことができた。</p> <p>【生徒の感想：1年生】</p> <p style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">私は拉致問題について、テレビでまだ帰ってこない人がたくさんいると知りました。でも、今日、市川健一さん夫妻の話聞いて、私が考えていた以上にたくさんの方が北朝鮮に拉致されていることが分かり、とても驚きました。拉致された人の中には、帰ってこれた人が5人いるけど、もっとたくさんの方が帰ってこれていないことに驚き、「なぜ北朝鮮は拉致したのだろう」「なぜ政府はもっと前から拉致被害者を取り戻そうと努力しなかったのだろう」と思いました。被害者の家族の中には、拉致された家族と会えないまま亡くなってしまう人もいると知って、とても悲しい思いになりました。私は、テレビで見たりDVDを見たりしていても、今まであまり考えたことがなかったけど、今日話を聞いて、早く、一人でも多くの拉致被害者が日本に戻ってこれるように、政府や被害者の家族の人々にかんばってほしいです。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ DVDを見ることで、拉致問題への理解が深まった。 ○ 拉致被害者の家族の講演を聞くことで、この問題への関心が高まり、拉致問題を身近なこととして考えるようになった。 ○ 保護者にも案内文書を配布したが、参加者が少なかった。生徒の感想文を保護者に配付するなどして、啓発を図っていきたい。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	垂水地区公民館		
学習・研修会名	高齢者学級	対象者	高齢者
学習・研修内容	高齢者に向けた、いきがいつくりの大切さを学び、また、在宅生活を長く続けるための住宅改造のポイントを学ぶ。		
映像教材名	「新しい自分の発見 ボランティアでいきいき人生」 「ころばぬ先の住まいのくふう 高齢者のための住宅改造」	種類 時間	DVD 15分 DVD 30分
映像教材の概要	<p>ボランティアとは特別な人がするものでなく、自分の空いているわずかな時間を利用して気軽に行うものであり、具体的に誰にでもできるような活動を紹介する。</p> <p>敷居でつまずく、浴室で転ぶ、階段を踏み外すなど、高齢者の家の中での事故が年々増えている中で、事故を未然に防ぐための在宅改造のポイントを紹介する。</p>		
教材借用先等	垂水市視聴覚ライブラリー		
映像教材活用 の 実 際	<ol style="list-style-type: none"> 1 垂水地区公民館長 あいさつ 2 ビデオ視聴 3 ビデオを視聴して感じたこと、考えたことを共有する。 4 閉会のあいさつ 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオを視聴することで、“いきがいつくり”につながる、ボランティアを身近なものに感じることができ、研修に深まりが生まれた。 ○ 少しでも長く在宅生活を続けるための、住宅改造のポイントを視覚的に学ぶことができ、現在の住まいにおける危険箇所の確認が出来きて、より具体的・現実的に理解できた。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	曾於市立大隅北小学校		
学習・研修会名	第5回家庭教育学級	対象者	保護者
学習・研修内容	人権同和教育		
映像教材名	わたしからはじめる人権 ～子どもの人権編～	種類・時間	DVD・18分
映像教材の概要	日常生活の中で見かける差別を，子どもの人権・いじめ・虐待といった事例から取り上げ，視聴者の中にある「他人を差別する気持ち」に気付かせる。		
教材借用先等	曾於市教育委員会社会教育課（大隅町図書館）		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 テーマについて説明する。 (1) 学習のねらいや目的について簡単に説明する。 (ねらい) ○ 人権同和教育問題について正しい理解と認識を深める。 ○ 人権同和教育に関する映像を視聴することで自分自身の中にある他人への差別意識に気づき，日常生活の中で人権を大切にすることを養う。 (2) ワークシートを活用し，協議しやすい雰囲気にする。 2 鹿児島県 県民生活局 人権同和对策課作成の資料「ひろとくんがおしえてくれたこと」を読み合わせ，様々な人権問題があふれていることに気づく。 3 DVD視聴「わたしからはじめる人権」ー子どもの人権編ー 4 DVDに付属している「わたしからはじめる人権」のワークシートを記入する。 5 ワークシートの設問に従い，お互いの考えを発表する。 6 発表者の考えに対して自分の考えを伝えるなど人権に関することについて協議する。 7 家庭教育学級長を中心に，家庭における人権問題についてまとめる。 8 学校長による講話を聞き，人権問題を考える大切さを深める。 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校や家庭における身近な人権問題を学習することで，子どもの人権を守る気持ちを新たにすることができた。 ○ 全保護者の約半分の出席だったため，PTA全体として学習することができなかった。 ○ 学習の時間が給食の時間と重なり，音声が聞き取りにくかった。環境的な準備を周到にしておくべきだった。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	曾於市立恒吉小学校		
学習・研修会名	校内研修（外国語活動）	対象者	本校職員
学習・研修内容	外国語活動		
映像教材名	英語教育推進リーダー中央研修DVD教材	種類・時間	DVD 20分
映像教材の概要	1 アルファベットの文字の読み方と形の学習に役立つ活動 2 アルファベットの文字と読み方の関係 3 発音と綴りの関係		
教材借用先等	本校視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	1 映像教材の選択 自校の映像ライブラリーを中心に適切な映像教材の情報収集に努め、映像教材を選択する。 2 本研修の流れ (1) 研修の趣旨及びDVD視聴のポイント確認 (2) DVD視聴 (3) 効果的な指導法や今後校内で取り組むべき課題 (4) 学校長指導		
成果・課題	○ 文部科学省より配布されたDVDを活用した研修を実施することで、次期学習指導要領の外国語活動の改訂のポイントを共通理解することができた。 ○ 本DVDの視聴を通して、本校児童に英語に慣れ親しませるために、多目的室を活用し、外国語活動の設営の充実を推進していく必要感を感じさせることができた。 ○ 文部科学省より配布されたDVDの一部しか視聴できなかった。今後、校内研修を活用し、全ての内容を視聴する必要がある。		

映像教材活用事例(後期)

事例提供団体等名	曾於市立中谷小学校		
学習・研修会名	社会科学習	対象者	5年児童
学習・研修内容	わたしたちの生活と森林 「木材をつくり出す森林」		
映像教材名	社会の扉 森林と林業	種類・時間	Web・10分
映像教材の概要	林業の仕事の様子から、林業の作業現場を知る。また、間伐をしている森林としていない森林を比較して林業の大切さを伝えている。更に、林業の抱える問題に触れこれからの林業はどうあるべきなのかを問題提起している。		
教材借用先等	NHK for school		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習のめあて、学習の流れについての確認 <ol style="list-style-type: none"> (1) 写真を見て、林業という職業について説明をする。 (2) 学習のめあてをつかませる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 林業で働く人は、どのように森林を活用しているのでしょうか。 (3) 学習の流れをつかませる。 2 ビデオ視聴「社会の扉 森林と林業」 3 林業の仕事と、人々が手間と時間をかけて丸太作りに取り組んでいることを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオを参考にしながら、資料と合わせて確認する。 4 グラフから林業で働く人々が工夫や努力を重ねて、森林の育成や保護に努めていることを理解する。 5 まとめをする 		
成果・課題	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 林業という職業を視覚教材により分かりやすく理解することができた。 ○ 林業の抱える問題点がグラフ等で表され、変化の様子を分かりやすく捉えることができた。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 映像内の資料の読み取りは、短い時間で行わなければならない全てを理解することが難しい部分があった。 ○ 資料の読み取りをさせた後に視覚教材を使用した方が、活用の効果が大きかった。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	志布志市教育委員会生涯学習課		
学習・研修会名	市人権教育研修会「ビデオフォーラム」	対象者	市民
学習・研修内容	ビデオ視聴等を中心とした「人権学習」		
映像教材名	① あの空の向こうに ② 思い込みから思いやりへ	種類・時間	DVD 38分 DVD 25分
映像教材の概要	<p>① インターネット等の利用にあたっての人権意識・人権感覚の重要性や人と人との語り合いの大切さを訴える内容である。</p> <p>② この作品はドラマの手法を使って、日常に潜む人権問題を「地域」としての視点から切り取っている。自分の中の人権意識を考えるためのきっかけにすることをねらい、制作されている。</p>		
教材借用先等	鹿児島県視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<p>日時：平成27年12月10日（木） 18：30～20：30 場所：志布志市文化会館</p>		
	1	開 会 趣旨説明（担当）	
	2	ビデオ視聴① 「あの空の向こうに」 （携帯電話問題・家庭のあり方）	
	3	情報モラルについて （学校教育課）	
	4	ビデオ視聴② 「思い込みから思いやりへ」 （様々な人権問題）	
	5	意見交換	
6	まとめ・閉会		
成果・課題	<p>○ 単なる講話だけではなく、映像を用いたために、興味深く視聴することができ、理解が深まったようである。</p> <p>○ 今年度も学校教育課と連携して実施することができた。</p>		



映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	西之表市立現和小学校		
学習・研修会名	職員研修	対象者	教員
学習・研修内容	人権同和教育Ⅰ～子供の人権を守るために～，学校危機管理		
映像教材名	週間ニュース深読み 『つつぬけ？丸見え？ネット時代の“個人情報”』	種類・時間	DVD 43分
映像教材の概要	ネットやSNSなどは，便利で楽しいツールであるが，利用する側がその危険性も知っておかなければ，人生に影響を及ぼすことになる。		
教材借用先等	西之表市視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<p>1 研修のテーマと概要についての説明</p> <p>(1) 本校の事例（FacebookやYouTubeに投稿した本校児童の事案）から必要性を捉える。</p> <p>(2) 研修のねらいや進め方について簡単に説明する。</p> <p>テーマ 「子供の人権を守る」～ネット社会での個人情報流出～</p> <p>ねらい 子供を取り巻くネット社会の危険性（個人情報が漏洩する仕組み）について認識を深め，子供の人権を守るために，教師はどうかかわっていけばよいかを考える。</p> <p>2 DVD視聴 NHKアーカイブス NHK Teacher's Library 「週間ニュース深読み 『つつぬけ？丸見え？ネット時代の“個人情報”』」</p> <p>3 感想交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 軽い気持ちでネットにコメントや画像を投稿したことが個人情報流出につながり，精神的にも社会的な立場も傷つけられる仕組みを知り，怖くなった。 ○ 既に子供たちは，スマホやゲーム機などを通して，簡単にネットを使える環境にある。ネットの怖さを知らないまま，楽しさだけでのめり込んでいくのは大変危険である。 ○ ネットの怖さと安全な利用法について指導することが喫緊の課題である。 <p>4 被害にあってしまったらどうすればよいかを法務省資料で確認する。</p> <p>5 校長による指導助言 学校危機管理（リスクマネジメント）人事管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報漏洩の事例 ・ 個人情報の守り方（USBの取扱いなど） ・ 諸表簿の管理方法と保存期間 		
成果と課題	<p>○ 普段何気なく使っているスマートフォンやパソコンでのSNSであるが，改めて恐さを知る機会となった。この被害から子供たちを守るためには，教育が必要である。子供たちの発達段階に応じて，便利さとともに身を守る知識を伝えるのが重要な役割だと感じた。</p> <p>○ 保護者への啓発のための指導も行い，家庭と連携して子供を守る必要がある。</p> <p>○ 個人情報の取扱いと管理に対して，常に危機管理意識をもっていかなければならない。</p>		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	西之表市立現和小学校		
学習・研修会名	職員研修	対象者	教員
学習・研修内容	人権同和教育Ⅱ・情報モラル教育 ～いじめを考える週間に向けて～		
映像教材名	週間ニュース深読み 『JK(女子高生)があぶない知ってほしいスマホの世界』	種類・時間	DVD 43分
映像教材の概要	JK(女子高生)がスマホを利用しているが、電話よりもLINEなどのSNSに夢中で、文字や画像で気持ちを伝え合っている。仲間外れやスマホ依存で睡眠障害やうつ病になったり、犯罪に巻き込まれたりする例も出ている。		
教材借用先等	西之表市視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<p>1 研修のねらいや進め方について簡単に説明する。 テーマ 「子供の人権を守る」～いじめを考える週間に向けて～ ねらい 子供を取り巻くネット社会の中における子供の実態について認識を深め、どんな問題が起きているか、どう防ぐか、どう対処するかを話し合う。</p> <p>2 DVD視聴 NHKアーカイブス NHK Teacher's Library 「週間ニュース深読み 『JK(女子高生)があぶない知ってほしいスマホの世界』」</p> <p>3 感想交流 ○ ネット社会の危険性（ネットいじめや犯罪被害）だけでなく、スマホ依存症やスマホ老眼、睡眠不足など健康面でもさまざまな悪影響を及ぼしていると知った。 ○ 既読スルーやライン外しなど、学習以外の事で悩みを抱えている実態。SNSから人間関係のトラブルが発生し、教師や親の目につきにくい所で深刻ないじめになっている。</p> <p>4 スマホの使用を認めながら危険を避ける方法について話し合う。</p> <p>5 学校はいじめ防止でどんな義務を負うのかについて考える。 (1) 公文（文部科学省の通知など）を読んでいますか。 スクール・コンプライアンスー判例を知る重要性 責任を問われることになる。 (2) 判例から学ぶ 教師の常識として知っておくべき教育法規といじめ事件の判決 (3) 「いじめ防止対策推進法」といじめ防止のために実施すべき対策 (4) 本校の教育課程の「いじめ防止基本方針」「いじめ防止のための組織」を見直す。 未然防止→早期発見→早期対応→重大事態への対処について共通理解を図ろう。</p> <p>6 授業で人権同和教育をどのように行うか。 6年社会科授業での具体化と配慮事項についての資料を紹介する。</p> <p>7 校長による指導助言 過去のいじめや学校事故等の事例から一学校側の迅速かつ組織的な対応の重要性</p>		
成果と課題	<p>○ 新たな課題となっている「ネットいじめ」「課金トラブル」「出会い系サイト被害」など。 ○ 教師自身も便利さや楽しさで夢中になるLINEなどのSNSであるが、人間関係や健康にも影響を及ぼしている実態を知ることができた。 ○ 危険を避ける方法を子供たちに伝えなければならない。系統的な指導計画を作るべき。 ○ 教師自身も新しいツールについて、危険性と安全な利用法を知っておかねばならない。</p>		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	南種子町立南種子中学校		
学習・研修会名	職員研修	対象者	職員
学習・研修内容	人権研修		
映像教材名	わたしからはじめる人権(女性の人権編)	種類・時間	DVD・21分
映像教材の概要	<p>女性の人権問題を，ドラマ，ドキュメンタリー，解説を3つのパートで構成。指導の手引きの設問集とともに，自分が被害者，加害者，傍観者になっていないか，問いかけていきます。そして被害者たちの心の痛みを知ることを通して，日常に差別があった場合，どうすべきかを考えていきます。</p>		
教材借用先等	鹿児島県視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 学校長による講話 <ul style="list-style-type: none"> ・研修のねらいや目的について 3 DVD視聴 <ul style="list-style-type: none"> 「わたしからはじめる人権（女性の人権偏）」 4 意見交換 5 閉会 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ セクハラ，パワハラについての良い学習機会となった。 ○ DVD視聴により，人権への認識の重要性や基本的な考えを，あらためて考えることができた。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	奄美市立屋仁小学校			
学習・研修会名	安全指導（火災）	対象者	小学生	
学習・研修内容	火災について学び、自分の身を守ることの大切さを知る。			
映像教材名	火あそびは火事のもと	種類・時間	ビデオ20分	
映像教材の概要	本映像教材は、火災予防に関するもので幼児から小学生を対象とした、具体的で分かりやすい教材である。学年の発達の段階に応じて多様に活用可能である。			
教材借用先等	奄美視聴覚ライブラリー			
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 火災発生の際の避難について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難の経路 ・ 避難中の留意点 ・ 避難の際の合言葉 お か し も ち 2 火災発生放送の放送を聞き、校庭へ避難する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 係による避難の様子を聞く。 3 笠利消防分署長による講話 <ul style="list-style-type: none"> ・ 火災の現状 ・ 地区内の火災件数 ・ 火災による悲しい事例の紹介 4 ビデオ視聴による防災意識の高揚 <ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオを視聴し、自分たちの生活との比較やよりよい行動について確認する。 ・ 画像を通じた危険予知能力の育成 5 他の場所での行動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校だけでなく家庭や地域での対応についても考え、より高い安全意識を高める。 	 <p style="text-align: center;">校庭への避難の様子</p>	 <p style="text-align: center;">消防署の方の話</p>	 <p style="text-align: center;">ビデオ視聴での学び</p>
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 画像の効果は大きく、児童の安全意識の高揚に効果的であった。 ・ ビデオ視聴を通して事前の避難訓練を振りかえる機会が得られ、大変意義深い活動となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 画像を単に視聴させるのではなく、目的に応じてピンポイントで指導したり発展的・継続的に指導していく必要がある。 			

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	奄美市立金久中学校		
学習・研修会名	学年PTA（保護者研修会）	対象者	保護者
学習・研修内容	情報モラル教育		
映像教材名	ぐりぶー・さくらのスマホ時代のネット トラブル予防教室 ～インターネットトラブルを皆で防 止！！～	種類・時間	DVD 30分
映像教材の概要	鹿児島県PRキャラクターぐりぶー・さくらが先生となり、小学生から高校生までの児童生徒にネット社会をめぐる様々な問 とその対処法を具体的に説明した内容		
教材借用先等	学校配付DVD		
映像教材 活用の 実際	<p>1 情報モラルに係るトラブル事例等の説明</p> <p>(1) 各家庭における携帯電話，スマートフォン，ゲーム機（通信等）の安全な使用方法について考える。 (ねらい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が家庭で使用する携帯電話スマートフォン，ゲーム機等の使用内容について理解する。 ○ 今後，各家庭で生徒が情報機器を使用する場合，家庭内ルールをどのように設け，安全な使用方法について理解する。 <p>(2) 職員からの説明を聴き，危険性等について理解する。</p> <p>2 全体学習「情報モラルにおける危険性やSNS等による生活習慣の乱れについて考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報モラルについてどのようなことを知っているのかを考える。 <p>3 ビデオ視聴「ぐりぶー・さくらのスマホ時代のネットトラブル予防教室」</p> <p>4 個人学習「家庭内ルールの設定に向けて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本日のDVD視聴等を踏まえて，スマホ等におけるSNSの使用について様々な問題があり，その解決に向けて何ができるかを考える。 ○ 学級，学年だけでなく部活動等における注意が必要である。 <p>5 まとめ</p> <p>PTA等において，家庭内ルールの設定について話し合う。また，今後のPTA活動において，積極的に情報モラルの危険性等について話し合う場を設定していくことの共通理解を図る。</p>		
成果・課題	<p>1 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者がDVDを視聴することによって，携帯電話やスマートフォン，通信機能付きたゲーム機等を使用する際の危険性やいじめにつながる問題等をより詳しく短時間に理解できた。 ○ 家庭内のルール作りに向けた取組を更に進めるきっかけとなった。 <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ DVDの視聴により具体的な問題等を把握することができたが，実際にその問題の解決に向けて取り組む方法を更に議論する必要がある。 ○ 家庭内のルールを地域へ広げていくことが課題である。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	大和村立名音小学校		
学習・研修会名	学級活動	対象者	全校児童
学習・研修内容	人権教室		
映像教材名	「人権」って何だろう	種類・時間	DVD・15分
映像教材の概要	<p>子どもたちの生活シーンをミニドラマ形式にして，人権学習のケーススタディーができるように構成されている教材である。また，子どもたちが体験したことなどを本音で話し合うドキュメンタリー映像が収録され，「人権」について参加型学習ができるように構成された教材である。</p>		
教材借用先等	奄美人権擁護員協議会事務局		
映像教材活用の実際	<p>〈主な学習の流れ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 始めのことば 2 学校長あいさつ（講師紹介を含む） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ol style="list-style-type: none"> 3 DVD視聴 <ul style="list-style-type: none"> ☆ DVD『「人権」って何だろう』を視聴する。 4 人権擁護員の先生方（2名）のお話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ☆ DVDを見た子どもたちの感想を基に，人権について，2人の先生に御指導いただいた。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 5 感想を発表する。 6 終わりのことば 		
成果・課題	<p>○ 子どもたちの生活シーンをミニドラマにしたり，子どもたちが体験したことを本音で話し合ったりするDVDだったので，身近な学校生活の中から，人権について考えるよい教材であった。「人がいやなことをすることは，だめだということが分かった。」「人権の意味が分かった。」「自分が知らない間に差別をすることがあるので，気を付けたい。」などの感想がでた。</p> <p>● 事前にパソコンやプロジェクターを準備し，仮のDVDでチェックをしていたが，当日は，不具合で映像を映すまで，時間を要した。当日使うDVDでの事前確認が必要である。</p>		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	瀬戸内町立薩川小学校		
学習・研修会名	人権集会	対象者	児童
学習・研修内容	人権教育		
映像教材名	小学生のための人権パート2 「大切なわたし 大切なあなた」	種類・時間	DVD・15分
映像教材の概要	<p>児童自身に、自分がかげがえのない大切な存在であるということ、自分にも他者にも人権があり、大切に守っていかなければならないということを理解させ、自尊感情を高め、他者を尊重する心を育むための教材となっている。</p>		
教材借用先等	瀬戸内町人権同和教育研究会		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 校内人権週間で学習したことの振り返り <ul style="list-style-type: none"> ○ ハンセン病問題や相手の立場を考えた言葉の伝え方などについて学習したこと。 2 DVDについての簡単な説明 3 DVD視聴 「大切なわたし 大切なあなた～大切な自分 大切なみんな～」 4 視聴後の補足説明 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分を大切にすることが相手を大切にすることにもつながること、自分たちが家族や地域の人などから大切にされていることを確認した。 		
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年の児童にも理解できる内容で、言葉で伝えるだけよりも DVD 視聴を通して、自分や他者を大切にすること理解させることができた。 ・ 子どもから大人まで多くの人へのインタビューを視聴し、いろいろな人の言葉を聞くことにより、児童に自分自身の行動について考えさせることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権集会は業間に行うため、DVD 視聴で終わってしまった。児童に感想を発表させるなど、視聴後の活動を深めたかった。 ・ 映像教材を活用する際は、児童の実態に即して選択する必要がある。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	瀬戸内町立諸鈍小中学校		
学習・研修会名	職員研修	対象者	職員
学習・研修内容	人権教育		
映像教材名	「平沢保治さん講演 教員編」	種類・時間	DVD・44分
映像教材の概要	国立ハンセン病資料館運営委員である平沢保治さん自身が体験されたことやこれからの教育に対する期待まで、人権教育をどのように進めていけばいいのかを教えてくれる貴重な資料である。		
教材借用先等	国立ハンセン病資料館		
映像教材活用の実際	<p>※ 2時間扱いで職員研修を行った。</p> <p>(1 コマ目)</p> <p>1 部落の歴史～差別の歴史から学ぶ～（講師：本校人権同和教育係）</p> <p>(1) 学習のねらいや目的について簡単に説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 同和問題についての正しい理解と認識を深める。 ○ 部落の歴史を正しく学ぶことにより、同和問題の課題は部落差別に係る偏見や差別意識を解消することであることを再認識し、私たち自身の意識を問い直すことの大切さに気付く。 <p>(2) 学校教育が果たす役割について意見交換を行う。</p> <p>(2 コマ目)</p> <p>2 ビデオ視聴 「国立ハンセン病資料館語り部活動 平沢保治さん講演 教員編 ～命と心と平和の教育を～」</p> <p>3 グループ学習（小中別） 「具体的に学校教育活動の中でどのように人権同和教育を行っているか。」について事例をお互いが挙げる。</p> <p>4 グループ発表（小中合同） それぞれのグループで出された取組を代表が発表し、共通理解を図る。</p> <p>5 質疑・応答</p> <p>6 学校長指導</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育活動のあらゆる場面において人権を尊重した言動を教師自身が示さなければならないということを再認識するよい機会となった。 ○ お互いに実際の取組を紹介し合うことで多様な考えをもつことができた。 ○ 平沢さんの言葉の力強さに圧倒され、教職員の責任の重さを痛感した。 ○ 視聴後の意見交換や感想等を通して学習の評価を行い、その後の参考としたい。 ○ 映像教材による研修をあまり経験してこなかったが、学ぶ側にとって納得がいく。改めて子どもたちのために教材開発をすすめなければと思った。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	瀬戸内町立俵中学校		
学習・研修会名	学級活動	対象者	中1生徒
学習・研修内容	人権の意義や重要性について理解する。		
映像教材名	アニメ「めぐみ」	種類・時間	DVD・25分
映像教材の概要	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ		
教材借用先等	配付されたDVD		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 拉致問題について知っていることを話し合う。 拉致問題の経緯について振り返らせる。 2 DVDアニメ「めぐみ」の視聴 3 アニメの中にいくつかの場面と関連させて、私たちの生活の中にはどのような権利（人権）があるか考え、話し合う。 【例】めぐみさんの誕生の場面 中学校へ入学する場面 行方不明になる場面 拉致されたことが判明する場面 ○ それぞれの場面と自分の生活を重ねて考えさせ、何が大切にされなければならないかを考えさせる。 4 意見交換をし、他者の意見を共感的に受け止めさせる。 5 一人一人の人権が大切にされる社会に向けて、どのように考え、行動していけばよいか、感想を書く。 ○ 拉致問題をはじめ、さまざまな人権問題について認識を深めさせるとともに、自ら行動していこうとする意識を高める。 6 すべての人が安心して生きられる社会づくりには、一人一人が人権尊重の豊かな感性や行動力をもつことが必要であることに気づく。 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 映像教材を用いることによって、視覚や聴覚に直接具体的に訴えるため、印象が深く、また、同時視聴により共通体験となり、学習内容が焦点化され、発言や意見交換が活発にできた。 ○ 今後は、様々な機会ですらに映像教材を取り入れていきたい。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	龍郷町立龍北中学校		
学習・研修会名	学校行事	対象者	生徒・職員
学習・研修内容	防災訓練（津波）		
映像教材名	津波に備える	種類・時間	DVD 18.5分
映像教材の概要	東日本大震災や北海道南西沖地震など実際に起きた大災害を踏まえ、津波から命を守るために備えておきたい知識や避難のポイントを、実際の映像やCG、インタビュー等により分かりやすく解説してある。		
教材借用先等	気象庁		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科の授業を実施 ※ どのような条件でも整然と避難行動が取れるように各教科の授業を導入の5分程度実施した。 2 実際の避難 <ol style="list-style-type: none"> (1) 町のシェイクアウトにおける緊急地震速報訓練放送を聴く。 (2) 机の下に身を隠し、地震に備える。 (3) 地震がおさまった後、教師の指示のもと、グラウンド中央に避難する。 (4) 職員による人員点呼、安否確認をする。 (5) 地震により津波が発生したこと、津波到来時間の連絡を聴く。 (6) 津波が起こった場合の避難場所を確認する。 3 ビデオ視聴 <ol style="list-style-type: none"> (1) 校舎内に移動する。 (2) 龍郷町での過去の災害（水害）の様子を知る。（教師による講話） (3) 津波が発生した場合、どのような注意や行動が必要か、津波のメカニズムを踏まえて、ビデオを視聴する。 4 校長先生の話 <ol style="list-style-type: none"> (1) 避難訓練の講評。 (2) 地震や津波に対する防災の必要性。 5 学習のまとめ ※ 本日の学習内容をふり返り、感想文をまとめる。 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオの内容が東日本大震災や北海道南西沖地震での人々の体験談を中心に編集がなされていたので、生徒は臨場感をもちながら真剣な態度でビデオに入っていた。 ○ ビデオの時間が20分弱であったため、生徒は集中して視聴することができた。また、実際の避難訓練や教師の講話を十分に踏まえながら授業を構成することができた。 ○ ビデオの内容の中で、津波のメカニズムを分かりやすく解説していたため、より津波の危険性について科学的に理解することができた。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	喜界町立喜界小学校		
学習・研修会名	租税教室	対象者	6年児童
学習・研修内容	① 税金の種類にはどのようなものがあるのかを知る。 ② 税金が世の中でどのように使われているのか理解する。		
映像教材名	「マリンとヤマト 不思議な日曜日」	種類 時間	Web・VTR 17分06秒
映像教材の概要	「健康で豊かな生活を送りたい」という、わたしたちみんなの願いをかなえるために、毎日の暮らしの中で税がどのようなところで使われているのかを学習するための視聴覚アニメ。 マリンとヤマトが公園で不思議な妖精を助けたことから「税金のない世の中」で生活することとなり、税金がわたしたちの生活になくてはならないものであるということを様々な事例を基に考えさせる内容。		
教材借用先等	一般財団法人 コンピュータ教育推進センター		
映像教材活用の実際	1 税金とはどういうものを説明する。 2 税金がなくなったらどういう世の中になってしまうのか問いかける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">税金がなくなってしまった世の中は、どのようになってしまうのだろう。</div> 3 教材資料「マリンとヤマト 不思議な日曜日」を見て、税金がなくなると世の中がどのように不便になってしまうのか気付かせる。 4 税金が世の中でどのように活用されているかを教材の中から想起させる。 5 学習をまとめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">税金はわたしたちの生活になくてはならないものであり、その税金を納めるのが国民の義務の一つになっているのは、安全で豊かな生活を送るためである。</div> 6 授業を通して感じたこと、考えたことを書かせる。		
成果・課題	○ 映像資料を活用することで、場面の様子がとらえやすかったり、共感的に理解を深められたりした。 ○ 実際に集められた税金がどのように使われているのか正しく認識する上では、有意義な授業であった。 ※ 税金の集め方について、さらに具体的な資料等があると、児童の理解も進むのではないかと思う。		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	喜界町立早町小学校		
学習・研修会名	理科	対象者	4年児童
学習・研修内容	単元名 月や星の動き		
映像教材名	ショートコンテンツシリーズ 月・星は動くのだろうか	種類・時間	DVD 15分
映像教材の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月の大きさや地球からの距離などを紹介 ○ 三日月はどのように動くのか、半月はどのように動くのか、ビデオ映像で観察する。 ○ オリオン座は、時間が経つとどのように動くのか、写真やビデオ映像で観察する。 		
教材借用先等	株式会社 企画集団 創		
映像教材活用の実際	<p style="text-align: center;">〈活動の流れ〉</p> <p>1 月や星の動きについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が観察し、スケッチしてきた資料と教科書の写真などを見ながら、月はどのように動くのかを考える。 ○ 児童が観察し、スケッチしてきた資料と教科書の写真や星座早見などを見ながら、星はどのように動くのかを考える。 <p>2 映像を通して月や星の動き方について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 三日月は、夕方に西の方位に見え、夕方から夜にかけて西に沈んでいく。 ○ 満月は、午前中から東に見え、夜から明け方まで見ることができる。 ○ オリオン座は、南東に見え、時間が経つと同時に、西の上空へ位置が変わっていく。 <p>※ 上の3点については、天気の悪い日や夜中には、確認することができないために、映像を通して知ることができる。</p> <p>3 映像を通して空全体の星の動きについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東の空の星の動き ○ 南の空の星の動き ○ 北の空の星の動き（北極星を中心に動く。） 		
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1～3の学習活動全般に渡って、映像資料を使って学習を展開した。児童自ら観察した結果と分かりやすい映像とが一致していることが、児童の知的好奇心に火を付け、その後の継続した観察につながった。 ○ 月や星の動きや空全体の星の動きを視覚的に見ることにより、知識・理解を深めることができた。 	

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	喜界町立喜界中学校		
学習・研修会名	道徳	対象者	中1生徒
学習・研修内容	自然に対する畏敬の念や周りへの感謝の心を育む		
映像教材名	クレオパトラアイランド～喜界の自然～	種類・時間	DVD 7分
映像教材の概要	生徒が生活している喜界島の南国らしい美しい自然の風景や、身近にある普段の生活で見ているが、通常は気付かない美しい風景等をまとめた映像集。		
教材借用先等	本校職員自作のデジタル映像		
映像教材の活用実	<ol style="list-style-type: none"> 1 事前に、身近にある自然の美しさや素晴らしさについて感じたことについてアンケートを取り、生徒の実態を把握しておく。 2 喜界島にある身近な自然から感じたことをワークシートにまとめさせる。 3 映像資料「クレオパトラアイランド」を見せる。 4 音声資料「自然からのメッセージ」を聞かせる。 5 資料中に登場する人物Aの自然に対する思いについての発言を聞いて、登場人物が自然の中で生きているものから、何を感じ取っているかを考えさせる。 6 資料中の主人公が、登場人物Aとの会話から学んだことについて考えさせる。 7 本時の学習で、今後の実生活へ生かせると感じたことや考えたことを、ワークシートにまとめさせる。 8 東日本大震災における「奇跡の一本松」の写真を見せ、その説明を聞かせ、今後の生活への意欲を持たせる。 		
成果・課題	<p>身近にある普段見慣れた自然を、映像で見ることによって、自然の美しさや偉大さを改めて感じ取ることができていた。また様々な自然の映像を見て、人も自然の中の1つの生き物であり、生きていることや生かされていることへの気付きや周りへの感謝の気持ちをもつことができていた。これが、常に自然を愛護する精神や日常生活で常に周りへ感謝する態度に繋がればいい。</p>		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	喜界町教育委員会生涯学習課		
学習・研修会名	喜界町上嘉鉄地区長寿者学級	対象者	長寿者学級生
学習・研修内容	喜界町の社会福祉		
映像教材名	社会福祉協議会のしくみと事業内容	種類・時間	DVD 20分
映像教材の概要	喜界町の高齢化率や社会福祉協議会の組織や事業内容について、実践的な映像を通して具体的に高齢者に理解しやすいように工夫されている。特に、介護支援事業について、詳しく説明している。		
教材借用先等	喜界町社会福祉協議会		
映像教材活用の実際	<p>1 喜界町社会福祉協議会作成の DVD を活用した，社会福祉協議会の組織・事業内容の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喜界町の人口，高齢化率，集落別平均年齢 ・ 社会福祉協議会のしくみ ・ 社会福祉協議会の仕事内容 ・ 社会福祉協議会会費 ・ 会費や寄付金の使われ方 ・ 共同募金のようす ・ 学校共同募金の協力 ・ ふれあい生き生きサロンのようす ・ 福祉サービス利用支援の内容 ・ 訪問介護の内容 ・ 居宅介護支援・障害者相談支援 ・ 小規模多機能ホームの支援サービス内容 ・ 地域見守りネットワーク事業 ・ 生活困窮者自立支援事業 ・ 福祉有償運送 ・ 住民座談会 ・ ペットボトル回収事業 <p>2 社会福祉協議会の事業内容に関する質疑応答</p>		
成果・課題	<p>○ 喜界町社会福祉事業の現状について，DVD の映像やデータを通して具体的に，理解することができ，諸事業等への参加協力の機運が高まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同募金への協力 ・ 長寿者学級の出席率の増加 ・ 健康・長寿の学習の意欲の向上 ・ 訪問介護・生き生きサロン等福祉サービス利用者の増加 <p>○ 映像視聴後の感想や意見の把握と社会福祉事業充実への反映</p>		